

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	Let's enjoy いくさかを五感で感じる観光事業
事業主体 (連絡先)	生坂村観光協会 (0263-69-3112)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,806,104円 (うち支援金: 3,728,000円)

事業内容

- 道の駅いくさかの郷に観光案内看板及び休憩スペースの設置を行った。
- 村内観光スポットの指定したポイントにおいて自身と風景を合わせて撮影した写真を道の駅いくさかの郷へ提示していただく、記念バッジ贈呈キャンペーンを行った。
- 聖山高原県立公園の一部である山清路の名勝看板の改修、ガイドマップ及びVR動画を作製し、観光PRを実施した。
- VRゴーグルの配備を行い、過去に作成したVR動画を活用してVR体験会の開催等により、アウトドアアクティビティのPRを実施した。



【道の駅観光案内看板】

【目標・ねらい】

- 道の駅を核とした村内周遊観光の促進
- 聖山高原県立公園山清路のPR
- VR動画を活用したアウトドアアクティビティのPR

事業効果

- 道の駅の観光環境の整備が図られた。
- 観光フォトラリーの実施においてバッジの贈呈場所を道の駅にすることで道の駅を核とした村内周遊観光が図られた。
- 聖山高原県立公園山清路の観光環境の整備が図られた。
- VR体験用ゴーグルの配備により体験会を自前で開催可能になった。

※自己評価【B】

【理由】

生坂村における道の駅を核とした観光環境の整備が図られたとともに、アウトドアアクティビティや特産品など、来場者に向けた生坂村の魅力のPRを行うことが出来た。

今後の取り組み

令和元年度に作製したアウトドアアクティビティVR動画及び令和2年度に作製した山清路VR動画を活用し、今後も各種イベント等の機会において生坂村観光の入口としての周知・PRを継続していく。また、観光環境の整備を行ってきた道の駅いくさかの郷については、道の駅との連携・協力のもと、今後も村観光の窓口として観光パンフレットの配備やバッジ贈呈キャンペーンを継続実施し、村内周遊観光の核を引き続き担っていく。そして、これまで実施してきた環境整備・実施キャンペーン等について計画的かつ効果的に活用し、更なる観光客の増加及び村内滞在時間の延長を図るため、今後も観光協会構成団体と連携・協力して観光誘客事業を推進していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある